

Shuei Walker 登録文化財の宝庫 桜川市真壁町訪問

桜川市真壁町を訪問したことはありませんか？実は真壁の町並みは江戸時代初期の町割りが残っていて多くの建物が登録有形文化財に指定されています。今回は、そんな桜川市真壁の町並みをボランティアガイドの方々に紹介してもらいました。真壁町には、まるでタイムスリップしたかのような素敵な木造建築の町並みが広がっています。一度足を踏み入るとノスタルジックな気持ちになることが出来る不思議な町です。今回は皆さんが知らない真壁の魅力を紹介したいと思います。
大関 埜乃子①(秀峰筑波)



真壁の町割りは、戦国時代末期の真壁氏の時代に形づくられました。その後、江戸時代初期の浅野氏の時代に統括を開始し、町割りが完成したといわれています。400年以上たった今も、町並みはほとんど変わっていないとの事です。
現在残っている建造物の多くは、商家の人たちが江戸時代末期から昭和初期にかけて蔵や門などを建て、文化・産業の中心として栄えました。見世蔵や、土蔵、門など、真壁には102棟の登録有形文化財が存在していて、建物前には真壁の御影石を使ったシンボルが立っています。
7月には祇園祭、2月～3月にかけては、ひな祭りなど町並みを活かした祭事が行われており、毎年多くの観光客で町はにぎわいを見せています。ひな祭りでは、お雛様が約160軒もの家や店舗で飾られ、観光客をもてなしてくれます。
黒崎 由嘉①(学園の森)

←真壁町唯一の洋風建築物
「旧真壁郵便局」
昭和2年に五十銀行真壁支店として使われていましたが昭和31年から昭和61年までは真壁郵便局として町民の生活を支えて続けた歴史ある建物の1つとなっています。内装は白を基調とした明るい雰囲気となっており、日当たりの良い暖かい造りになっていました。
秋元 楠々美①(豊里)



↑丁寧に真壁の町並みについて教えてくれた町並みガイドさん

真壁に行ったら食べて！ 真壁の美味しいものガイド



↑宮本精肉店<昔ながらのコロケ60円>
注文すると目の前で揚げてもらえ、出来立てが食べられます。



伊勢屋旅館よりお弁当をいただきました。
↑福来むすび
真壁特産の福来みかんが入った七味が混ぜ込んであり、みかんの風味と七味のピリ辛が口に広がり、焼きおにぎり特有の油っぽさを七味が緩和してくれ、さっぱり食べられます。
←けんちん汁・・・真壁で採れた野菜たっぷりのけんちん汁です。根菜から優しい出汁のうまみが染みっていました。福来七味(左)で味変するのもしもいかもしれません。
鷹巣 朱里②(谷田部)

多様性とは？個性の化学反応 第29回秀輝祭

6月16日、17日の二日間にわたって、第29回秀輝祭が行われました。今年のテーマは『多様性とは？個性の化学反応』でした。
コロナの影響も無くなり去年と比べ、ステージ上で色んな発表が出来るようになりました。パビリコレクションの実施や、有志団体の発表、ペンライトを使った演出や声出しが可能となり、秀英生一丸となって盛り上がる事ができました。
塚本 結菜②(豊里)



- 令和5年度 秀輝祭 各賞 受賞団体
- ・校長賞 3-5
 - ・スパークリング賞 1-10
 - ・ベストエフォート賞 2-2
 - ・金獅子賞 3-1
 - ・わくわく賞 3-2
 - ・チームワーク賞 吹奏楽部
 - ・PTA賞 1位 3-2
 - 2位 吹奏楽部
 - 3位 3-1
 - 3-4
 - 3-5
 - ・秀英賞 1位 3-2
 - 3-1
 - 3位 konomi(有志)
 - 4位 2-1
 - 5位 天然水(有志)

校長賞を受賞した3-5

←校長賞3-5「#今日、好きになりけり」
この劇は、準備が間に合わず、役の動きは前日に初めて合わせる事になったので、うまく上演できるか不安でした。まさか2つも賞を取れるとは思っていませんでした。高校生活最後の文化祭で、大きな思い出をつくる事ができて良かったです。
齋藤 悠生③(鬼怒)



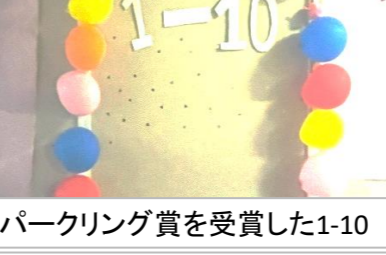
有志で素晴らしい演出をした応援部



わくわく賞を受賞した3-2



各賞を受賞した企画団体



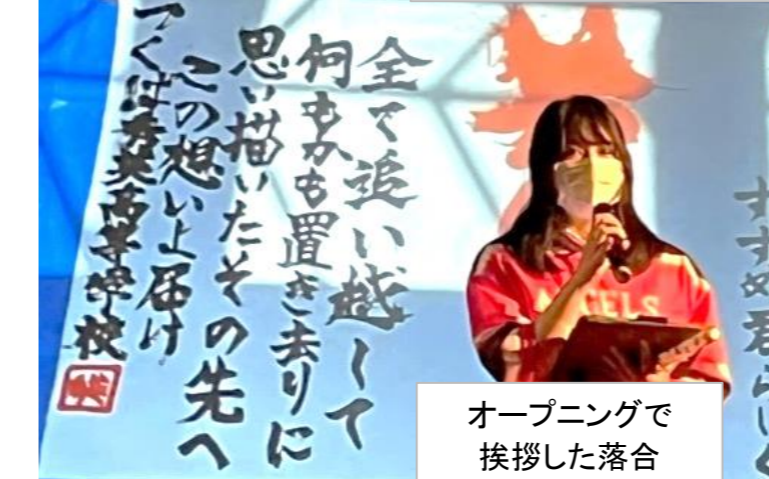
スパークリング賞を受賞した1-10

←秀輝祭実行委員長「落合七海②(豊里)」よりみなさん、秀輝祭は楽しめました！今年の秀輝祭は、新型コロナウイルスの規制が緩和されたこともあり、昨年よりいろんな交流ができたと思います。また、オープニングセレモニーでは、ペンライトを使って企画を盛り上げたり、ランウェイを作ってパビリコレをしたり、これまでにない企画を行ったため、盛り上がるか不安でしたが、みなさんの盛り上がった歓声を聞いて私の不安が自信に変わりました。思い出に残る文化祭になっていたら嬉しいです。貴重な体験をありがとうございました！
落合 七海②(豊里)

←スパークリング賞1-10「チカリン」
短い期間でこんないいものが作れるとは思っていませんでした。初めての文化祭にふさわしいものが出来て良かったです。制作するのは凄く大変だったけど、クラスの人と協力して作り上げ、仲間との絆を深める事が出来て良かったです。
齋藤 あかり①(桜)



ベストエフォート賞を受賞した2-2



オープニングで挨拶した落合



↑秀輝祭を盛り上げるために来てくれた「ねばる君」

学校の文化祭っていつから始まったの？(文化祭の歴史について)
日本最古の文化祭は、1921年に東京・府立第五中学校(現・小石川中等教育学校)で開催された「創作展覧会」で、創作作品展示の機会をつくる事が目的でした。
本格的に文化祭が始まったのは戦後、自主活動の制限がなくなる、昭和23年頃からです。当時は、クラブや有志生徒の活動発表が中心でした。1960年代になると、受験競争が激化し、それに伴い文化祭も停滞してきました。ですが、その状況を変えるため、クラス単位で参加させる学校が増えてきました。全クラスが参加すれば、全生徒が参加することになり、活性化すると考えたからです。こうして現代の文化祭の形式になりました。
坂本 のどか②(桜)



生徒会新聞
Vol. 108
2023.7.20
つば秀英高等学校
生徒会発行

生徒会発行
「秀花新聞」
全国高等学校総文祭
新聞の部10年連続出場

新聞記事の
ネタ募集中！
新聞ボランティア
募集中！



1面
・多様性とは？個性の化学反応
第29回秀輝祭
2面
・Keep it up!
③部活動の大会結果
3面
・大事な進路選択
文理選択&大学入試
・編集後記
4面
・Shuei Walker
登録文化財の宝庫
桜川市真壁町訪問

※記事内の○の中の数字は学年()は(出身中学校)になります。



秀花新聞バックナンバー

Keep it up! 〈部活動の大会結果〉

次の部活動が激闘の予選を勝ち抜き全国大会へ進出を決めました。3年生部員は次の大会で引退する人方もあると思います。全国のステージでも頑張ってください。生徒一同応援しています。

- ★柔道部
全国総体茨城県予選会<男子団体優勝>
・団体戦メンバー
吉田 兼三③(龍・愛宕)→個人優勝
鈴木 一星③(牛久第一)
根本 竜希②(勝田第二)
鷹巣 竜太②(藤代)→個人優勝
星 拓西①(城ノ内)
中村 連音③(貫井)
全国大会→8月8日～札幌市「北海道立総合体育センター」
- ★陸上部
関東高校陸上競技大会<男子団体2位>
男子4×100mリレー 40秒72 1位(會田・池嶋・平沼・小室)
男子100m 10秒61 1位 小室 歩久斗②(霞ヶ浦)
男子100m 10秒92 6位 池嶋 修平②(秀峰筑波)
男子200m 21秒70 4位 會田 聖也②(大穂)
男子走高跳 2m04 2位 徳守 央篤③(結城)
全国大会→8月2日～札幌市「厚別公園陸上競技場」
- ★新聞部
茨城県高等学校新聞コンクール<最優秀賞>
全国大会→7月29日～鹿児島市「志學館大学」

★陸上部
100m、リレーと両方優勝しましたが、どちらの種目も大会では調子が悪くタイム的には納得のいかない状況でした。点数的には50点ぐらいです。優勝という面では嬉しかったですが、次の大会では自分に厳しく練習を積み重ね、タイムも自己ベスト更新を目標に頑張りたいです。タイム中心にならずに自分の走りをし、目標に近づける走りができたらと思っています。

小室 歩久斗②(霞ヶ浦)
最初の跳躍は助走が合わず3回ある試技数の中で2回失敗してしまい後がない状況になりましたが、短い助走に切り変えて勝負に出た結果、それが上手くハマり最終的には2m04cmのセカンドベスト記録を残せてびっくりしました。インターハイでは今回の失敗を直して新しい助走で安定した記録を出し2m10cm以上を跳び3位以内に入賞メダルを獲得したいです。
徳守 央篤③(結城)

陸上部への応援ありがとうございました。リレーのタイムは、まだまだでしたが優勝できて良かったです。今大会では自分自身の弱さが出てしまったのでインターハイまでには良い状態に仕上げたいです。目標は、リレーで39秒台で優勝し、200mは20秒台で優勝を目指してがんばります。

會田 聖也②(大穂)
リレーと個人で次の大会につなげられて良かったです。しかし、記録は満足のいくものではなく、悔しさが大きかったです。全国では雰囲気負けず、自信をもって走っていききたいです。自分の最大限のパフォーマンスを発揮し、リレーで優勝、個人で上位を目指して頑張ります。

池嶋 修平②(秀峰筑波)
個人は残念な結果になりましたが、リレーに関しては優勝を勝ち取ることができ、インターハイに向けて良い一歩になりました。次はインターハイになります。しっかり40秒前半を安定させ、優勝は39秒台が必須になるので、残り1ヶ月顧問の先生、リレーメンバーとしっかり話し合い技術を改善し、優勝を取れるように頑張ります。

平沼 京樹③(谷田部東)



3年生は大会で敗退すると引退となる中、柔道部、陸上部、新聞部が全国大会へ出場を決めました。全国大会出場を決めるまで、それぞれ目標に向かって、日々の練習を頑張ってきたと思います。全国大会に出場を決めた部活動の皆さん、本当にお疲れ様でした。次の大会でも頑張ってください！
石黒 優奈②(豊里)



★柔道部
勝ったことはよかったけどチームとしての課題が多く出てしまいました。チームや個人の課題を見直して去年の先輩たちに近づけるよう頑張りたいです。

吉田 兼三③(龍・愛宕)
相手が自分より大きい相手で思うような柔道が出来なかったですが、ずっと負け続けてた高校に最後勝つことができよかったです。自分個人ではインターハイに向けて技術的な部分を修正したいです。

鈴木 一星③(牛久第一)
今回の大会は今まで負けていたチームに最後の最後で勝って、優勝することができて本当に嬉しかったです。この大会をとおして、自分の弱さをたくさん見つけることができたので、その弱さをなくしていきたいと思います。

根本竜希②(勝田第二)
先輩たちの躍動に感動したのと、ずっと負けていた相手だったので勝って嬉しかったです。全国では全員で一つでも多く勝って入賞できるように頑張りたいです。

鷹巣 竜太②(藤代)
1人だけ一年生で出場したので緊張しました。先輩たちの足を引っ張らずに戦えたので良かったと思っています。一つでも多く勝って先輩たちの足を引っ張らずに良い結果を残せるよう精一杯頑張っていきたいと思っています。

星 拓西①(城ノ内)
チーム一丸となって目標であった全国出場を決められて嬉しいです。一戦でも多く戦えるように、全国大会まで向上心をもって一日一日を大切にしていきたいです。全国大会では北海道の地で万年雪を自分の熱量で全部溶かすぐらいの気持ちで戦いたいと思います。

中村 連音③(貫井)



★新聞部
文化部のインターハイといわれている、全国高等学校総合文化祭に11年連続出場を決めました。今年は鹿児島県で全国大会があります。茨城県コンクールで3度目の最優秀賞(1位)を獲得した名門新聞部の部長として、頑張ってきます。鹿児島総文では、みんなで力を合わせてイイ新聞を作ってきます。
ミハエル・グスタボ③(下妻東部)→



大事な進路選択 文理選択 & 大学入試

文理選択とは？

文系か理系か、のどちらかを選択する事です。高校によって異なりますが、本校では、1年生の1月に正式に決定し、2年生からは理系のクラス、文系のクラスに分類され、それに沿った科目の授業を行います。

文理の選択について単純に、科目の得意と不得意で選択しようとしていませんか？どちらかを選択する事で、将来の職業選択が大きく異なります。大学の受験科目や入学後に学ぶ分野に繋がり、その先の就職にも影響する為、とても大切な選択になります。1年生の皆さんは、文理選択を決めるまで、まだ時間があると思います。自分の将来の進路に繋がるので、どちらを選択するかは、職業希望などを考慮してよく調べてみてください。

相馬 拓実③(西初石)

大学入試とは？

簡単に言うと、大学の入学試験を受ける事です。一般入試、推薦入試(学校推薦、自己推薦)、総合型入試と大きく分けられています。

一般入試は、ペーパーテストでの学力勝負であり、高校で学習した全科目の知識を筆記試験、マーク試験で問われます。

推薦入試は、人柄重視であり、高校の成績、面接、小論文等により受験者を評価していきます。

総合型入試は、大学が求めている学生を募集しているため、大学に対する熱意や勉学の関心や意欲が重視されます。

3年生の皆さんは、大学入試に関して、どの受験スタイルで検討していますか？多くの生徒は、推薦・総合型入試に向けて準備を進めていると思います。自分自身が希望している大学に向かって、積極的に進路探求を行っていきましょう。

効率の良い勉強方法は？

★時間を決めておく
授業や部活がある平日は勉強できる時間も限られます。そのため、学習内容と一緒に時間も決めておくといいです。ダラダラすることがなくなり、集中でき時間を有効に使えます。うまく出来なかった場合は、計画の見直しが必要です。

★復習を大切に
人間の記憶は時間が経つと忘れていきます。そのため、毎日復習の時間を設けましょう。3日前までの内容を復習し覚えていると勉強した内容は知識として定着していきます。

山越 悠汰③(谷田部)
相馬 拓実③(西初石)
平嶋 悠人③(守谷)

はじめに、今回の新聞作成は、新聞同好会の3年生部員が引退となり最後の作成となりました。2009年の第一号創刊から継続発行され、今月号で108号の発行となり、今月号から8号の発行と継いで何た。先輩方から受け継いで何か、ここから発行し続けることが出来ました。これも秀花新聞を読み続けてくださった皆さんのお陰です。今後とも秀花新聞のご愛読をよろしくお願い致します。

第29回秀輝祭が行われました。今年度の秀輝祭では、ファッションショーが行われ、今まで以上に盛り上がりました。思い出に残るいい機会になったと思います。開催を認めてくださった先生方、中心となって運営してくれたい実行委員の皆さんありがとうございました。

最後に申し上げますが、私たちが中心となり一年間作成した秀花新聞を、愛読してくださった皆さん、ありがとうございました。来月号から新しい秀花新聞になりますが、引き続き秀花新聞のご愛読の程、よろしくお願いいたします。

編集後記